

第8章 啓発事業

- 1 出前講座・環境美化推進員説明会
- 2 清掃工場等の施設見学
- 3 来てみて体感！ 3Rバスツアー
- 4 ごみ減量・リサイクルポスターの募集
- 5 ごみ減量・リサイクル啓発イベントの開催
- 6 G活チャレンジ！100の実施
- 7 広報まえばし、市ホームページ等の活用
- 8 チラシ、パンフレット等の作成
- 9 環境問題講演会の実施

第8章 啓発事業

ごみ問題解決のためには、市民の協力が不可欠であるため、ごみ減量・リサイクル講座、清掃工場見学会、環境教育講座などを実施している。

また、平成8年度からは、市民一人ひとりが、ごみを減量しリサイクルすることの重要性について理解と関心を深め、より豊かなリサイクル社会を築き上げていく気運を高めるために「前橋市民リサイクルの日」を制定し、関連事業として「ごみ減量・リサイクル啓発イベント」を開催している。

1 出前講座・環境美化推進員説明会

市内全中学校を始め、自治会、老人会、小学生、生涯学習団体、環境美化推進員等を対象に、地区の集会所や教育施設に直接出向き、本市のごみ問題の現状や減量・資源化対策に関する講座を行った。

| | | |
|------------------------|--------------|-------------|
| 平成27年度中学生環境講座 | 実施回数 21回 (校) | 参加人数 8,812人 |
| 平成27年度座談会 (3Rバスツアーを除く) | 実施回数 33回 | 参加人数 750人 |

2 清掃工場等の施設見学

小中学生、自治会、生涯学習等の各種団体を対象に、実際のごみ処理を行っている清掃工場を見学してもらうことで、ごみ問題への理解や認識を深めている。

実施場所は、可燃ごみを焼却している六供清掃工場と大胡クリーンセンター、不燃・粗大ごみを処理している荻窪清掃工場（前橋市最終処分場を含む）と富士見クリーンステーション（富士見最終処分場を含む）、ペットボトル選別処理施設（大渡町）で、各施設におけるごみ処理の様子を見学するほか、ペットボトル選別処理施設を除く各施設では説明用ビデオの放映や見学コースの案内誘導を行っている。

【実施状況】

| 工場名 | 区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|--------------------------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 六供清掃工場 | 参加団体 | 63団体 | 106団体 | 68団体 | 71団体 | 71団体 |
| | 来場人数 | 3,586人 | 3,853人 | 3,543人 | 3,372人 | 3,354人 |
| 大胡クリーンセンター | 参加団体 | 2団体 | 2団体 | 2団体 | 2団体 | 2団体 |
| | 来場人数 | 175人 | 160人 | 172人 | 138人 | 143人 |
| 荻窪清掃工場 (前橋市最終処分場を含む) | 参加団体 | 40団体 | 44団体 | 46団体 | 39団体 | 36団体 |
| | 来場人数 | 2,339人 | 2,312人 | 2,446人 | 2,167人 | 2,042人 |
| 富士見クリーンステーション (富士見最終処分場を含む) | 参加団体 | 5団体 | 5団体 | 5団体 | 5団体 | 2団体 |
| | 来場人数 | 316人 | 232人 | 223人 | 196人 | 97人 |
| ペットボトル 選別処理施設 | 参加団体 | 1団体 | 5団体 | 2団体 | 3団体 | 0団体 |
| | 来場人数 | 13人 | 107人 | 50人 | 76人 | 0人 |

3 来てみて体感！ 3Rバスツアー（平成19年度より実施）

自治会等を対象として参加者が10人以上まとまった場合に市有バスを利用し、清掃工場及び最終処分場を見学するとともに、ごみ減量へのキーワード「3R（リデュース、リユース、リサイクル）」についてのワンポイント紹介などを行った。

| | | |
|----------|------|----------------------------|
| 平成23年度実績 | 12団体 | 参加人数 270人（出前講座の3Rバスツアーを含む） |
| 平成24年度実績 | 6団体 | 参加人数 127人（出前講座の3Rバスツアーを含む） |

| | | | |
|----------|-------|------|-------------------------|
| 平成25年度実績 | 7 団体 | 参加人数 | 131人（出前講座の3 R バスツアーを含む） |
| 平成26年度実績 | 13 団体 | 参加人数 | 397人（出前講座の3 R バスツアーを含む） |
| 平成27年度実績 | 13 団体 | 参加人数 | 595人（出前講座の3 R バスツアーを含む） |

4 ごみ減量・リサイクルポスターの募集（平成4年度より実施）

平成4年度から、ごみに対する関心と認識を深めてもらうことを目的として、市内の小・中学生を対象にポスターの募集を行っている。

| | |
|------------|-----------------------------|
| 平成23年度応募点数 | ポスター1,184点（小学校654点、中学校530点） |
| 平成24年度応募点数 | ポスター1,169点（小学校578点、中学校591点） |
| 平成25年度応募点数 | ポスター1,198点（小学校622点、中学校576点） |
| 平成26年度応募点数 | ポスター1,505点（小学校670点、中学校835点） |
| 平成27年度応募点数 | ポスター1,537点（小学校676点、中学校861点） |

5 ごみ減量・リサイクル啓発イベントの開催（平成3年度より開催）

平成3年度から、ごみ減量・リサイクル問題について考えてもらうとともに、子供から大人まで楽しめるイベントとして「前橋リサイクルまつり」を開催しており、平成25年度から「私にとっては不用でも誰かにとっては宝物」をテーマに「リユース宝市」として開催している。

(1) 「リユース宝市」の開催

前橋プラザ元気 21 中央公民館ホールを会場に、子育て世代を対象に実施し、約 2,800 キログラムのリユース品が集まり、2,337 キログラム（約 85 パーセント）が新しい持ち主の手に渡った。

日 時：平成 27 年 12 月 13 日（日）9:20～11:30

参加者：384 人

(2) リユースに関するモデル事業

地域での 3 R 意識の高揚及びその定着を図るため、次のとおり、地域を限定した「リユース宝市」をモデル的に実施した。

①芳賀地区「リユース宝市（不用品交換会）」

芳賀小学校 P T A バザーの開催に合わせて、芳賀小学校南側校舎 1 F 「木の部屋」を会場に実施した。このイベントで、芳賀地区の住民から提供された約 800 キログラムのリユース品のうち、約 600 キログラム（約 75 パーセント）が新しい持ち主の手に渡った。

日 時：平成 27 年 11 月 28 日（日）9:00～11:00

参加者：約 250 人

②新地地区「リユース宝市」

富士見地区、新地子ども会育成会の有価物集団回収実施に合わせて、新地公民館を会場に実施した。このイベントで、新地地区の住民から提供された約 350 キログラムのリユース品のうち、約 50 キログラム（15 パーセント）が新しい持ち主の手に渡り、約 250 キログラム（70 パーセント）が有価物集団回収で資源化された。

日 時：平成 27 年 12 月 19 日（土）9:30～11:30

参加者：約 20 人

6 G 活チャレンジ！100の実施（平成25年度より実施）

ごみの減量活動（G 活）を推進し、以下の 6 項目をスローガンとして、1人1日当たりの家庭ごみの排出量を平成27年度までに100 g 減量する取り組みを行った。

- ①「分けます！紙はとことんリサイクル」
- ②「分けます！プラスチックの“包み・入れ物・袋”」
- ③「捨てません！誰かにとっては価値ある衣類」
- ④「ギュッと！生ごみ水切りダイエット」

- ⑤「パクッと！食べます最後まで」
- ⑥「持ちます！マイはし、マイボトル、マイバッグ」

7 広報まえばし、市ホームページ等の活用

市の広報紙である「広報まえばし」や市ホームページ等を活用し、タイムリーな情報など掲載している。

8 チラシ、パンフレット等の作成

- 「家庭用資源・ごみ収集カレンダー」を作成し各戸配布。
- 転入転居手続の来庁者に「ごみの分け方・出し方概要版」「家庭用資源・ごみ収集カレンダー」を配布
- 外国人用に英語版・ポルトガル語版・スペイン語版・中国語版・ハングル版「ごみの分け方・出し方」を配布
- 高齢者の方向けに、プラ容器、紙、衣類等の分け方の資料を作成した。ひとり暮らしの高齢者の方へ民生委員を通じて配布
- 幼児向け紙芝居「大切にするよ」を作成し、図書館での貸出しを開始
- 「家庭用資源・ごみ分別ガイドブック」を作成し、各戸配布

9 環境問題講演会の実施

都市・生活型公害から地球的規模までの環境問題への対応、快適な生活環境づくりや良好な自然環境の保全・創造に向け、市民一人ひとりに人間活動と環境との関わりについて自ら考えてもらい、ごみ・リサイクル問題をはじめとする環境問題に対して市民意識の高揚を図ることを目的として、平成9年度から実施している。

【過去の実施状況】

- 平成14年2月27日(水) 14:00～15:30 前橋テルサ2階大ホール 参加者数440人
「広げよう環(わ)の心 ～循環型社会への道しるべ～」
環境省環境カウンセラー 片亀 光 氏
- 平成15年2月17日(水) 14:00～15:30 前橋テルサ2階ホール 参加者数450人
「ゴミ問題から見えてきたもの ～私の取材ノート～」
日本テレビ報道局ディレクター 荻原 弘子 氏
- 平成16年2月3日(火) 15:00～16:30 前橋市総合福祉会館多目的ホール 参加者数460人
「循環型社会に向けた市民の役割」
環境・廃棄物コンサルタント 杉山 涼子 氏
- 平成17年2月24日(木) 19:00～20:30 前橋市民文化会館大ホール 参加者数700人
「富士山から日本を変える」
アルピニスト 野口 健 氏
- 平成21年11月21日(土) 11:00～15:40 前橋プラザ元気21 こども図書館・中央公民館ホール
参加者数300人
「～朗読コンサート～ 命はめぐる」
絵本作家 みらい なな 氏
- 平成23年12月10日(土) 13:30～16:00 前橋市総合福祉会館多目的ホール 参加者数250人
「次に晴れればそれでいい」
元スキーノルディック複合選手 荻原 次晴 氏
- 平成25年11月24日(日) 13:30～15:50 前橋市総合福祉会館多目的ホール 参加者数150人
「エネルギー新時代の暮らし方～未来へつなぐエコライフ～」
環境カウンセラー 片亀 光 氏